

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	入間市児童発達支援センター			
○保護者評価実施期間	令和8年1月21日		～	令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	令和8年1月21日		～	令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月21日		～	令和8年2月13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	7	(回答数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援計画に保護者や担任等の意向を盛り込んでいる。	・保護者や訪問先と事前に情報共有を行ったうえで、支援の内容について分析を行い、根拠をもって丁寧に説明している。	・受託事業者代表（臨床心理士・ESDMセラピスト）や療法師のアセスメントを支援計画に反映させていき、専門性を高めていく。
2	保護者へ適切な共有がされている。	・訪問前に情報共有を実施し、迅速にモニタリングの機会を設定し、対面で情報共有を行っている。	・フィードバックの際に支援教材等使用し、より分かりやすい説明を行う。
3	利用者様の満足度が高いこと。	・訪問前に、こどもや保護者様のニーズ・訪問先施設の意向を丁寧に確認している。 ・保育所等訪問支援計画に基づき、丁寧なフィードバックを行っている。	・引き続き、事前の意向確認や丁寧なフィードバックを継続して行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時等の対応に関すること	・訪問支援の特性上、有事の際に訪問担当者がどの指揮系統に属し、どう関与するのか明確にしにくい。	・訪問先との非常時の連携を強化していく。
2	教具・教材の紹介や提供等の機会が少ない。	状況や必要に応じて紹介や提供するため利用頻度が少ない。	・実物が難しい場合は写真やイラストを活用して、保護者様や訪問先施設に紹介や情報提供を含めたフィードバックを行っている。
3	活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する発信力の弱さ	・保育所等訪問支援の申請時に、活動概要について説明書での説明の為イメージが掴みづらいこと。	・見やすく内容が伝わる資料作り、掲示方法の見直をしている。